

第5学年 学年だより



杉並区立杉並和泉学園小学部
平成30年11月15日 No.8
学園長 田中 稔
担任 田中 剛司
鈴木 馨
岡崎 英華
副担任 鈴木 八千代

確かな学力を育む取組

下の表は、5月に実施した杉並区特定の課題に対する調査等の結果です。

本校の5年生の正答率は、項目ごとに見ると平均を上回っている問題も多数あるものの、全体的には、区平均を下回っています。この結果を受けて、各教科の授業内容をより定着させるために、学び残しやつまずきを減らすための個別学習を充実させたり、協働学習を推進したりするなど、授業改善に取り組んでいます。また、確かな学力をより一層定着させることができるように放課後学習や家庭学習の見直しも図っていきます。

<杉並区特定の課題に対する調査（区学力調査）の結果より 各教科の平均正答率（％）>

| | | |
|----|-----|------|
| 国語 | 本校 | 61.9 |
| | 区平均 | 64.3 |
| 算数 | 本校 | 61.6 |
| | 区平均 | 64.6 |
| 理科 | 本校 | 62.8 |
| | 区平均 | 65.4 |

<個票をもう一度見直しましょう>

上の表は、5年生の平均値です。**大切なのは、一人一人が課題をしっかりと把握して学習に取り組んでいくことです。**2学期の保護者会でお渡しした個票に項目ごとの正答率と目標値が書いてあるので、家庭学習をする際の参考にしていただければと思います。

| | | 正答率 | 目標値 |
|----|-----|--|---|
| 算数 | 基礎 | 5年生の学習では 数学的な考え方：見通しをもち、論理的に考え、表現する力 技能：計算や測定をし、数量や図形について表したり、調べたりする技能 知識・理解：数量や図形についての意味や性質、関係、特徴についての理解 | |
| | 応用 | | |
| | 観点別 | 学ぶ力 | 数学的考え方 |
| | | 学んだ力 | 技能 |
| | | | 知識・理解 |
| | 領域別 | 数と計算 | 5年生の学習では 数と計算：分数のたし算・ひき算・かけ算・わり算、小数のかけ算・わり算 など 量と測定：四角形や三角形の面積、体積、単位量あたりの大きさ、平均、 など 図形：合同な図形、三角形や四角形の角、正多角形と円、角柱と円柱 など 数量関係：表や式を使って、割合、帯グラフと円グラフ、計算、面積 など |
| 理科 | 基礎 | 5年生の学習では 思考・表現：自然の事物・現象の変化の要因を、条件に着目して考え、問題を解決する力 技能：目的に応じて観察・実験をし、その過程や結果を的確にまとめる力 知識・理解：自然の事物・現象の性質や変化のきまりについての理解 | |
| | 応用 | | |
| | 観点別 | 学ぶ力 | 思考・表現 |
| | | 学んだ力 | 技能 |
| | | | 知識・理解 |
| | 領域別 | エネルギー | 5年生の学習では エネルギー：電磁石の性質、ふりこの動き 粒子：もののとけ方 生命：植物の発芽・成長、メダカの誕生、人の誕生 植物の実や種子のでき方、 地球：天気の変化、台風と天気の変化、流れる水のはたらき |

＜学園における学力向上の取組＞

- ・校内研究を通して、「思考力・判断力・表現力等」の向上を目指しています。一人一人がじっくりと考える時間を確保するために「個で思考する」→「話し合い、ICT 活用を通して思考を共有する」→「自分の考えを問い直す」流れを大切に授業づくりを行っています。
- ・小学部と中学部の教員が話し合い、9 年間のつながりのある学習を展開しています。今までに学んだことを生かし、さらに知識・技能を身に付けることができるようにしています。
- ・小学部の授業を中学部教員が指導したり、中学部のパワーアップ教室に小学部教員が参加したりするなど、互いの特長を生かした指導体制を整えています。

＜地域と協力した学力向上の取組＞

- ・放課後学習（小学部木曜日、中学部水曜日）、夏のパワーアップ教室では、学校支援本部と協力して個別学習の充実を図っています。学園が開校してから 4 年目の取組となり、着実に成果が表れています。
- ・思考力を高める「わくわく算数レストラン」、知識・技能の定着を確認する「漢字・英語検定」を定期的に実施しています。意欲的に学ぶ姿がたくさん見られています。
- ・土曜日に学校支援本部が「手習い塾」を開催しています。小学部・中学部の児童が集中して自分の課題に取り組んでいます。さらに、多くの児童生徒に参加してほしいと思います。

＜5年生における学力向上の取組＞

- ・一部教科担任制
→教員の専門性を生かして、社会（岡崎）、理科（鈴木）、体育（田中）で実施しています。
- ・3 学期より定期考査の実施
→学期末テスト（国語、算数、理科、社会）を 1 日にまとめて実施します。中学部のように学習計画を立て、自ら学習に取り組む習慣を身に付けることができますようにします。

5年 授業改善プラン（学力テストの結果より）

国語

- ・聞かれたことを文章から正しく書き抜く力
 - ・文章全体を正しく読む力
 - ・文章を読んで自分の経験と重ねて書く力
- などに課題が見られました。

授業改善ポイント

- ・文章を正しく読む力を高めます。
→音読する時間を必要に応じて取り入れます。（一人ずつ順番に読む方法だけでなく、学習内容に応じて一人読み、ペア読みなど効果的な方法を取り入れます。）
- ・言葉を正しく理解できるようにします。
→辞書を引く習慣をつけていきます。
- 語句の意味を理解できているか確認するプリントに宿題等で取り組みます。
- ・物語や説明文を読んで自分の考えを書く力を高めます。
→書く時間の確保、感想を伝え合う活動を充実させます。

社会

- ・「東西南北」「杉並区の位置」「都道府県の位置」などの知識についての正答率が低かったです。
- ・複数の資料を正しく読み取る問題の正答率が低かったです。

授業改善ポイント

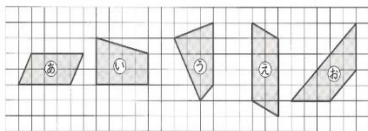
- ・確実な知識の定着を図ります。
- 知識を定着させるために、プリントやタブレットPCのドリルを活用します。
- ・複数の資料を正しく読み取る力を高めます。
- 資料を読み取らせる際は、「気付いたことを書きなさい」という漠然とした指示を出すのではなく、どのような視点で資料を読み取るべきか、指示を明確にします。読み取った結果を発表させる際は、視点に沿っているか確認をするようにします。

算数

「図形の基礎的な問題から応用問題」「減法と乗法の計算のきまりを使った問題を考えること」「資料を2つの観点から分類整理すること」などの問題の正答率が低かったです。

例

下の四角形の中から、台形と平行四辺形をすべて見つけて、④から⑥の記号で答えましょう。



(2) □ にあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{array}{r} \square.\square \\ \times \square 4 \\ \hline 6\square \\ 1\square\square \\ \hline 1\square 8.\square \end{array}$$

(1) 2, 4, 6, 8 の4まいの整数のカードがあります。

3まい選んであ, い, うに入れて、答えがいちばん大きくなるようにしましょう。

$$\boxed{\text{あ}} \times (\boxed{\text{い}} - \boxed{\text{う}})$$

授業改善ポイント

- ・図形を正しく捉える力を高めます。
- 図形の向きや傾きに左右されない見方を養い、言葉とイメージを正しくつなげることができるように、実際に実物を操作したり、ICTを活用して立体的に形を捉えたりすることができるようにします。
- ・計算方法の仕組みを理解する力を高めます。
- 計算方法の仕組みを理解することができるように、計算方法について気付いたことや理解したことをペアで伝え合ったり、学習を振り返ったりする時間を十分に確保します。また、空欄に当てはまる数字を考える問題〔例の(1)(2)の問題〕では、考える順序を説明する活動を取り入れたり、試行錯誤して解を見つけ出す喜びを味わえるようにしたりします。

理科

「顕微鏡や温度計などに関する知識」「正しい実験結果を選ぶこと」「学んだことを基に説明する力」などの正答率が低かったです。

例

- ③ けんたくんの家では、冬に部屋全体をあたためるために、せん風機を回しています。これはなぜですか。「空気」「せん風機」という言葉を使って説明しましょう。



授業改善ポイント

- ・学んだことを説明する力を高めます。
- 実験結果のまとめ、結果から分かったこと、疑問に思ったこと等、考察し「表現する時間」を確保します。また、書く内容を掲示することで視点を明確にします。そして、考えを伝え合う「対話する時間」を十分に確保します。
- ・確実な知識の定着を図ります。
- 知識の定着を確認する時間を設けたり、学習課題につながる既習事項を確認したりします。

5年生の家庭学習

家庭学習時間のめやすは？

60分（10分×学年＋10分）

宿題

《月～木曜日》

音読、漢字らくらくノート、計算らくらくノート
※らくらくノートの代わりにプリントになることもあります。

《金曜日》

音読、漢字らくらくノート・計算ドリルなど
日記、自主学習ノート



- 授業で学習したことの復習
- これから学習することの予習
- 自分の課題（できていないところ）を克服するための学習
- 興味・関心があることを追求する自主的な学習

こんな学習をしてみよう！！

○知識・技能の定着を図る取組 ●思考力等を育む発展的な取組

国語

- 国語辞典を使う（意味調べ）
- 新しい語句を使って文章を作る。
- 漢字・四文字熟語などの暗記
- 音読・読書
読んだ本の題名、ページ数、感想などを記録しておくといいですね。
- ※②は学校にあるワークシートを活用することもできます
- 読書した本についての感想や意見をまとめたり、自分の生き方と関連付けて文章を書いたりする。
- 新聞記事について自分の意見をまとめる。

算数

- 教科書・ノートを見ながら、学習内容の復習をする。
- 例えば…
 - ・計算練習
分数、小数のかけ算、わり算など
 - ・倍数、約数
公約数（最大）、公倍数（最小）
 - ・単位量あたりの大きさ
- 文章問題を解く時に、自分で数直線や図をかいて立式する。（お家の人に説明する）
- 発展問題に取り組む。

社会

- 教科書・ノートを見ながら学習内容を復習する。
- 地図帳に親しむ。
- 学習問題から疑問に思ったことや、さらに調べたいことを実験したり調べたりする。
- 学習したことを活用する発展問題に取り組み、自分の言葉で説明する。

理科

- 教科書・ノートを振り返りながら学習内容を復習する。
- 学習問題から疑問に思ったことや、さらに調べたいことを実験したり調べたりする。
- 学習したことを活用する発展問題に取り組み、自分の言葉で説明する。

ご家庭に協力していただきたいこと

音読 ← 正しく読めているか聞いてあげてください。読んだ後に、内容を理解しているか質問をしてあげてください。
らくらくノート、プリントなど ← 終わったら内容を確認してほめてあげましょう。確認サインをノートにしてあげてもいいですね。

「勉強している様子を見守る」

「自分が習った時とは違うので、」「教え方が分からなくて、」という声をよく聞きます。「勉強を教える」ことよりも、「勉強する環境を整える」「勉強している姿を見守る」ことが大切です。
生活習慣や学習への取り組み方を工夫させ、家庭学習が習慣化できるようにしましょう。
また、お子さんが自分の力に合った内容を選んで学習に取り組んでいるか確認してあげてください。（何ができていないのか、どの力を伸ばしたらいいのか一緒に考えてあげてください。）

「3Hを大切に」

努力したこと、成長したことを具体的にほめることでやる気もさらに高まります。
ほめる … 「きれいに書けているね。」「集中して取り組んだね。」など
はげます … 「間違いもあつたけど、やればできるね。」
ひろげる … 「よくできたね。あなたなら、もっとこんなこともできると思うよ。」
「～についてさらに調べてみると楽しそうだね。」など